

道後地区社協関連ニュース (2025.3~2026.2)



- ①夏まつりin道後 8月23日(土)
道後中学校グラウンドにおいて、夏まつりが催されました。小中学生による吹奏楽等の発表や様々な屋台の食に舌鼓を打ちました。私達は、人権啓発や民生委員の理解を深めるパンフレットの配布を行いました。
- ②第3ブロックB研修会 10月17日(金)
「高齢者の肺炎」「ヒートショックの危険性と予防法」を学ぶとともにブロック間の情報・意見交換をしました。
- ③第14回 道後温泉入浴体験事業 10月20日(月)
道後小学校3年生を対象に、入浴体験及び道後の歴史について学びました。今度は家族と入浴したい等の感想や感謝のお手紙をいただきました。
- ④道後地区文化祭 11月16日(日)
聖カタリナ大学の学生が、民生委員体験学習のため民生委員PRパンフレット配布や文化祭催し物見学を行いました。

- その後高齢者訪問も実施しました。
- ⑤独居高齢者へ防災用品を配布 12月
南海トラフ地震に備え、防災意識を高めるため防災グッズを、独居高齢者の方に配付いたしました。
- ⑥三世代交流もちつき大会 12月6日(土)
杵と臼でつくもちつきを三世代で体験しました。子どもたちは自分で作ったお餅のおいしさに笑顔いっぱいでした。
- ⑦第12回 サロン交流会 12月10日(水)
4つのサロンが集まり、高齢者が孤独・孤立しない気軽に集まれ、楽しい会になる取り組みのための意見交換をしました。
- ⑧はたちの集い 令和8年1月11日(月)
久しぶりの友人や恩師に会え、笑顔があふれており、式典はとても厳粛で素敵な集いでした。また、この日の様子が、南海放送テレビで放映されました。

地域の話

石手寺三重塔の修復完了

令和7年11月本瓦葺屋根の葺き替え工事が完了しました。三重塔の内壁には真言宗八祖の図が、来迎壁には曼荼羅が施され、須弥壇には釈迦三尊の像を祭り、平安時代末期から鎌倉時代に多く用いられた構造で、全体容姿の均整がとれ、鎌倉時代の特色を伝える建物です。令和6年8月に始まった約90年ぶりの本格工事の落成式を4月に行う予定です。



編集後記

新年度から私も後期高齢者。前向きの気持ちの衰えや、その打開策に苦慮中です。一方で、より良いまちづくりへの取り組み機運もこれに似た感じがします。困難に押されるか、前向きの明るさを感じ取れるか。

編集委員
啓発調査部長 藤井 康



道後地区社会福祉協議会

道後福祉だより

「^{あい}支え愛 ^ゆ湯ったり暮らせる 道後の福祉」

道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,303世帯
人口	10,883人
男性	5,008人
女性	5,875人
65歳以上	2,925人
高齢化率	26.9%
0~14歳人口	1,460人
(令和8年2月1日現在)	
編集・発行 道後地区社会福祉協議会	



民生児童委員(民生委員)の今とこれから ～さらなる活動に向けて～



みなさま民生委員をご存知ですか。令和9年に110年を迎える歴史を持ち、厚生労働大臣から委嘱された非常勤・特別職の地方公務員で、みんなが安全に安心して生活できる地域をつくるボランティアです。全国には約23万人の委員がいます。

活動は、高齢者等の訪問活動、心配・悩みごとの相談(民生委員法により守秘義務が課せられており、退任後も継続されている)、住民の居場所づくり、登下校時の見守り活動、地域活動への参加などを行っています。任期は3年で、令和7年12月1日から新しい任期が始まりました。

道後地区には、子どもに特化した主任児童委員2名と民生委員が22名おり、70%が仕事を持ちながら活動をしています。担当地区は決められていますがお互いに協力しそれぞれ得意な分野を活かし助け合い、道後地区がこれからも住み続けたい地域であるよう様々な関係機関とつながり行動しています。

しかし、今後を考えると委員のなり手不足が懸念されています。2022年の一斉改選時は、富山県に次ぐ充足率2位でしたが今期は低下しそうです。

委員活動が今の時代に合った、委員本来の役割に照ら



した活動の見直し、就任した委員が働きながらも、委員としての力量を高めてできるだけ長く活動を継続できる環境づくりが急務です。

そのために、厚生労働省や全国民生委員児童委員連合会(民生児童委員の全国組織)が、民生委員や行政に調査やインタビューを行い、参考となる事例収集を行い、各民児協による取り組み促進を行っています。

それとともに、みなさんに民生委員の活動内容や存在を知っていただき、民生委員になり地域貢献しようと思ってもらえるよう、ホームページ等での周知啓発や地域での活動を知っていただけることに努めてまいります。松山市では、若い世代にも知っていただくために大学生に委員の活動等を体験してもらい理解を深める取り組みをしています。

また、私たち民生児童委員協議会は、地区社会福祉協議会・行政・町内会連合会・公民館・学校・企業・地域包括支援センター・地域住民の方々等様々な地域との関係機関とつながりながら、皆が助け合う共助ができ、つながり支え合う社会となるよう努力してまいります。

なぜなら、平時からのつながりや備えがあつてこそ、災害時等、困難が避けられない場合においても連携が機能し困難を乗り越える支えとなると思うからです。

最後に、困りごとで悩んでいる方を見かけたら、民生委員へお知らせください。お話をお聴きし、関係機関につなげてまいります。



赤い羽根 共同募金のお礼

道後地区共同募金会

地区のみなさまはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和7年度共同募金に、積極的にご支援いただき感謝しております。共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきいきサロン事業等に活用されています。今年度は道後公民館文化祭でボーイスカウト松山第33団の方々のご協力により街頭募金を行いました。ありがとうございました。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



サロン活動

地域の65歳以上の人達で作る健康維持などのためのサークルです。道後地区には4サロンあります。近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、地区社協の最も大きな事業で、地区社協OBも大勢支援しています。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	三好美己恵	石手分館	第1・2水曜日	10時~12時
	脳トレ・まついち体操・折り紙・レクリエーション・えと飾り・CDに合わせて合唱			
②道後サロン・マドンナ (男性3名 女性6名)	油野 秀樹	道後公民館	第2・4火曜日	10時~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・DVD鑑賞・輪投げ			
③フレアイサロン道後 (男性1名 女性16名)	山田 妙子	道後公民館	20日(除土日祝)	10時~12時
	脳トレ・手芸・日本の歌・レクリエーション・クリスマスリース作り			
④サロン もみじ (男性4名 女性6名)	上田 孝行	1階集会室	第1水曜日	10時~11時半
	ラジオ体操・脳トレ・歌・まちかど講座・折紙			

道後小学校

校長 佐藤 郁子

3年間を振り返って

道後小学校校長3年目になりました。今年も「笑顔あふれる安全で安心な学校」「笑顔で登校 満足して下校 明日も行きたい学校」を目指して、道後っ子的ために「チーム道後」教職員一同全力で取り組んでいます。

①言葉で人を育てる!ほめて、認めて、励まし、応援・支援する!

私の教育観として「言葉で人を育てる」ということがあります。道後小学校の教職員は、「ほめて、認めて、励まし、応援・支援する」を合言葉として、日々の教育を行っています。

AIに訊ねてみると、「褒める(ほめる)とは、他人の行動や成果、優れた点を「良い」と評価し、言葉や態度で肯定的に伝えること。相手を励ましたり、良い行動を習慣化させたりする目的があり、単なる言葉だけでなく表情やジェスチャー(身振り)も含まれる」とありました。

教職員は子供を見る目、観察力を磨き、ちょっとしたこと、当たりまえのことでも見逃さず、その言動に価値付けをして褒めることを実践しています。指導しなくてはならないことに対しては、子供が納得できるように、子供の心に響くように語ってほしいと伝えています。「チーム道後」の教職員は一丸となっ

て、道後っ子の健全育成に取り組んでいます。地域の皆様方も子供たちの素敵な姿を見つけたら、ぜひ一声褒めていただけたらと思います。

②まつやま型コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組

本年度4月より松山市教育委員会の取組として、市内の小中学校一斉に、「まつやま型コミュニティ・スクール」がスタートしました。そこで本校では、社会給がかりで地域の子供たちを育てるため、「まつやま型コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を一体的に実施することとし、学校と地域との連携教育を推進することになりました。

まずは、今までも実施していた「セーフティー道後」(地域住民代表者での会議)に「道後小学校特色ある学校づくり推進協議会」を重ねて実施しました。小学校からは、本校の現状や子供たちの活動の様子について情報提供を行い、地域の方々からは、子供たちの言動で気になることを知らせていただきました。

今までもご協力いただいていた本校の行事等に、もっともっと参画していただき、学校と地域がWin-Winの関係になるように計画を立て、たくさんの方々にご協力いただきました。運動会、音楽会、生活科「昔の遊び」「町探検」はもちろんですが、本年度はプール清掃や学校の美化活動、登校時の見守りにも参画していただきました。昨年度までは、保護者の皆様を中心としてご協力いただいていたのですが、本年度は民生委員の方々や地域の有志の方々にもお力添えをいただきました。子供たちと教職員だけでは大変だった行事も、皆様のお力添えで大きな問題もなく無事に終了することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き道後小学校の応援団としてご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

道後中学校

校長 客野 英司

2年間を振り返って

令和6年4月に道後中学校へ赴任し、まず感銘を受けたのが、美しく力強い校歌です。「美わし 伊予の熟田津のほり」と始まり「ああ 道後 道後中学」と結ばれるその旋律は、これまでの勤務校で経験したことがない混声三部合唱で、式典のたびに生徒たちが朗々と歌い上げます。この2年間、生徒たちの清々しい歌声に何度も心を動かされました。本校が誇る、歌を愛する生徒たちの活動を紹介します。

無伴奏混声四部合唱「椰子の実」は圧巻です。鳥崎藤村の詩を抒情豊かに歌い上げる姿は、松山市連合音楽会でも聴衆を魅了しています。令和8年度も、どのような歌声が響くのか期待に胸が膨らみます。

①校内合唱コンクール

全校生徒が5ブロックに分かれ、3年生の主導のもと選曲から練習、本番までを生徒主体で進めます。令和5年度はコミュニティセンターのカメラホール、6年度は松山市民会館大ホール、そして7年度は愛媛県民文化会館メインホールと、市内の主要ホールで研鑽の成果を披露してきました。特に学年合唱として3年生が伝統的に歌い継ぐ

②音楽集会

「音楽で季節を感じる」等をテーマとした、生徒たちの手による伝統的な活動です。体育館に全校生徒が集まり、学年合唱や全校合唱に詩の朗読を交えて構成されます。令和7年度は、7月に「夏の思い出」「浜辺の歌」「花」の学年合唱と詩の朗読を、12月には「夢の世界を」の全校合唱とピアノ鑑賞、詩の朗読を行いました。最後の詩の朗読の余韻を味わいながら静かに退場する生徒たちの表情からは、この集会が充実した時間であることがうかがえます。3学期の開催も心待ちにしています。

道後中学校での2年間を通じ、上級生がリードし下級生がそれに応える生徒たちの主体性と、それを温かく支える保護者や地域の皆様の存在を強く実感いたしました。こうした絆こそが本校の伝統を築き、生徒が仲間と共に高め合える「笑顔と感動ある学校」の原動力となっています。

